

[ブレーカーが切れる] 場合の症状例と対処方法

【症状例2】グリルを使用するとクッキングヒーター専用ブレーカーや漏電ブレーカーが切れる

切れているブレーカーを一度しっかりと下げてから入れ直してください。



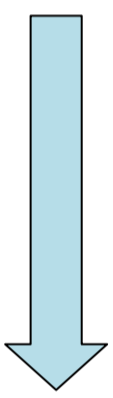
ブレーカーを入れ直すことができた



通常どおりクッキングヒーターが使用できる場合は、そのまま使用してください。



使用するとブレーカーが切れる



機器本体に不具合がある可能性があります。



お使いのクッキングヒーターの「メーカー」、「型式」をご確認ください。



施工店に連絡し対応を依頼してください。  
施工店が分からない場合は、メーカー連絡先を  
[「各機器メーカーお問い合わせ・相談窓口」](#)でご確認いただき、  
直接メーカーにご相談ください。



ブレーカーを入れ直すことができない  
(直ぐにブレーカーが切れてしまう)



クッキングヒーターの電源を「切」にして  
コンセントを抜いてください。



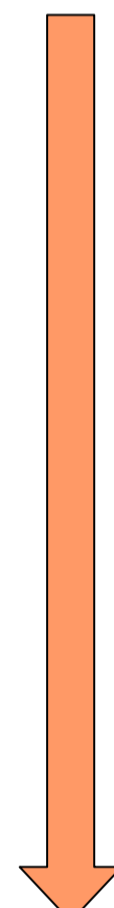
再度、切れているブレーカーを  
一度しっかりと下げてから入れ直  
してください。



ブレーカーを入れ直す  
ことができた



ブレーカーを入れ直すことができない  
(直ぐにブレーカーが切れてしまう)



クッキングヒーター以外が原因でブレーカーが切れている  
と考えられます。他の電化機器の不具合やブレーカー、電気  
配線設備などの不具合の可能性があります。  
電気工事店等にご相談ください。  
電気工事店等が分からない場合は[こちら](#)から工事店を  
お探しいただけます。

「ほくでんリビング相談センター」でも電化機器の不具合に関するご相談をお受けしております。

『電化機器の調子が悪いけど対処方法がよく分からない』『電化機器の症状について一度相談をしたい』『施工店や電気工事店が分からない・工事店を紹介して欲しい』など、お気軽にご相談ください。

住宅の省エネ・電化機器に関するご相談は  
ほくでんリビング相談センター  
**0120-155-680**  
営業時間 月曜日～土曜日 9:00～17:00  
(休業日/日曜日・祝日・12/29～1/3)  
緊急のお申出は、営業時間以外でも承ります。

www.denpota.jp  
北海道の電化情報ポータルサイト  
でんポタ

工事店のご紹介につきましては、機器不具合の症状により対応可能な工事店を  
ご紹介できない場合がございますのでご了承ください。